

トピックス

■寄付講座「国吉康雄を中心とした美術鑑賞教育研究講座」を10月に開設

本学大学院教育学研究科は9月3日、記者会見を本学津島キャンパスで行い、10月に寄付講座「国吉康雄を中心とした美術鑑賞教育研究講座」を開設すると発表しました＝写真右。同寄付講座では、岡山の生んだ世界的画家である国吉康雄の作品や画業と生き方を研究。地域の芸術・文化資源を活かした先進的な美術鑑賞手法の開発と実践教育を実施していきます。

会見には、森田潔岡山大学長、公益財団法人福武教育文化振興財団の福武純子代表理事理事長、公益財団法人福武財団の金代健次郎事務局長、大学院教育学研究科の高塚成信研究科長、山口健二教授が出席。森田学長は、両財団からの寄付に謝辞を述べ、「寄付講座を通して、地域のコミュニティと地域文化の創造的発展に寄与する人材を育成し、地域に貢献する」と話しました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id356.html



■桃太郎フォーラム XVIII 「60分授業・4学期（クォーター）制」の活用について討論



本学教育開発センターは9月10日、創立五十周年記念館などで、大学教職員等を対象にした研修会「桃太郎フォーラム XVIII」を開催しました＝写真左。「新しいプラットフォーム『60分授業・4学期（クォーター）制』導入に向けて」をテーマに実施。他大学の教職員を含め、教職員・学生ら約300人が参加しました。

特別講演では、許南浩教育担当理事が教育システムの改革と新しいプラットフォームの導入を柱とした本学の教育改革が目指すものについて説明

したほか、吉田大輔 前・文部科学省高等教育局長が大学改革の方向性と本学教育改革への期待について講演しました。

60分授業・4学期（クォーター）制を活用した授業改善のアイデアをポスターにし、展示・発表するポスターセッション＝写真右や、学部単位での取り組みや学生からの意見をもとに、新たな教育の可能性について討議するシンポジウムを実施。教育システムや授業の改善・工夫、学修成果の測定、大学院のコースワーク充実、グローバル人材育成からみたSD、学生のメンタルヘルスといった教育改善に関する6テーマに分けた分科会も開催しました。



参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4952.html

最近の大学の取組

■植物研が米国ボイス・トンプソン植物科学研究所と覚書を締結



本学資源植物科学研究所は8月26日、米国ニューヨーク州・コーネル大学のボイス・トンプソン植物科学研究所(BTI)と共同研究に関する取り決め覚書の調印式を行いました。

BTIは、1924年に設立された歴史ある植物科学の研究所で、国際的にもその名が知られています。式典では、前川雅彦同所長とBTIのエリック・リチャード教授が覚え書きを手に、握手を交わしました＝写真左。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4911.html

■文部科学省情報ひろばで特別展示を開催

本学は9月1日～12月末まで、文部科学省エントランス(正面)東館2階で文部科学省との共同企画展示を開催しています。日本のエネルギー自給率向上と持続可能な社会の実現のため、本学は「次世代太陽電池技術」や「瀬戸内を利用した潮流発電技術」などの研究に取り組んでおり、パネルや映像で本学が誇る同研究の概要を紹介しています。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4908.html

最近注目の研究

■メタンハイドレート表面への分子吸着機構を解明

自然科学研究科(理)理論化学研究室の矢ヶ崎琢磨特任助教、松本正和准教授、田中秀樹教授の研究チームは、計算機シミュレーションにより、メタンハイドレートへの分子の吸着機構を世界で初めて解明しました。本研究成果は2015年9月2日、アメリカ化学会の国際科学雑誌「Journal of the American Chemical Society」オンライン版に掲載されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id334.html

■コオロギの脚が元の形に再生する仕組みを解明

自然科学研究科の濱田良真大学院生、富岡憲治教授、医歯薬学総合研究科の板東哲哉助教、大内淑代教授らの研究グループは、フタホシコオロギの脚再生過程において、再生した脚を元通りの形に再生させる因子を探索。切断された脚が元通りの形に再生できるのは、エピジェネティック因子(E(z)、Utx)が脚の形づくりに関わる遺伝子を調節することに起因することを解明しました。本研究成果は9月1日、英国の科学雑誌「Development」に掲載されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id333.html

■IgG4 関連疾患とがんの関連性を解明

保健学研究科の佐藤康晴准教授、大野京太郎大学院生、大学院医歯薬学総合研究科の吉野正教授らの研究グループは、眼領域におけるIgG4関連疾患と悪性腫瘍(がん)の関連性をサイトカインレベルで初めて解明しました。本研究成果は8月27日、英国科学誌Natureの姉妹誌「Scientific Reports」に掲載されました。 参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id332.html

行事予定

- ・岡山大学ホームカミングデイ 2015 10月17日(土) 岡山大学創立五十周年記念館、各学部 他
- ・岡山大学スーパーグローバルデー2015 10月18日(日) 岡山大学創立五十周年記念館

- ・岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>
- ・岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>
- ・岡山大学 Twitter https://twitter.com/okayama_uni
- ・岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学広報・情報戦略室

Tel : 086-251-7292, 7293 Mail : www-adm@adm.okayama-u.ac.jp